

# 都 退 教 協 だ よ り

No.261

'14.8.20

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪 春  
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F  
 東京都公立学校教職員組合内  
 TEL 03-5276-1311 FAX 03-5276-1312  
 E-mail ttu@tokyokyouso.org

## 今こそ「教え子を再び戦場に送るな」の決意を

### ― 都退教協第四〇回定期総会報告 ―

安倍内閣が不当な解釈改憲により集団的自衛権行使容認を閣議決定した翌日、七月二日(水)午後二時、日本教育会館J.T.U会議室において、遠藤副会長の司会により、都退教協第四〇回定期総会が開催されました。

総会に先立ち、元東京教組委員長・当協議会の常任委員の吉田一徳氏を始めこの一年間に逝去された会員の方々の冥福を祈り全員が黙禱を捧げ、その後、佐久間忠夫氏を議長に選出し二時間の討論を繰り広げました。

秋元会長は主催者挨拶で、集団的自衛権の行使で日本が戦争に巻き込まれることは明白であり、今こそ「教え子を再び戦場に送るな」との日教組の不滅のスローガンをかみしめる必要がある。また、福島原発事故が終息せず、核のゴミの処理の目途も立たないままに政府・電力会社は原発再稼働・輸出を急いでいるが、これらの危険な動きにどう対処するのかをじっくり議論してほしい。高齢者が安心し、若者・子どもがのびのびと生活できる平和な世の中を作るために、日退教、都退協を始め皆で知恵を出し合い運動を進めたい。自身は高齢・健康上の理由で会長を退くが、今後も顧問として体力の許す限りがんばりたい、と述べました。

続いて来賓として、東京教組・土井彰執行委員長、日退教・西澤清会長、東京高退連合・福島恒男会長、都退協・花輪不二男会長から、等しく、現在進行している立憲主義や民主主義の破壊、平和や人権の破壊、民主的教育制度や社会保障の破壊、国民主権から国家主権への後退、戦後から戦前への復帰等を企んでいる安倍内閣に対する怒りの声と、私たち退職者が現退一致で闘う必要があるとの連帯の挨拶を頂きました。

他に都高退教・平岡良久会長、東京退女教・朝倉泰子事務局長、東京都庁退・岡田嘉久会長、東交退・鴨居守副会長、東水退・塚原一弘会長等、出席された来賓が紹介されました。

議事に入り、松下事務局長より経過報告、安藤会計から二〇一三年度決算報告、小倉会計監査より監査報告がなされ、報告事項は一括承認されました。協議事項は、柴田副会長から組織拡大方針を始めとする九項目の活動方針案の提案、安藤会計から二〇一四年度予算案の提案がありました。(活動報告・方針等は「都退教協だより」二六〇号に掲載)

討議の中では、組織拡大に関し、現役組合の衰勢の中で現役・再任用・退職者の三者の連携を急ぐ必要性があること。また、競争主義の下でバラバラにされている学校現場の人間関係も互いに呼びかけあい支え合うことで修復できる等の指摘。ホームページやブログなどを利用して都退教協の活動や集会の予定等を広く会員に知らせ、また会員の声を聴くなど、インターネットを活用した活動の必要性が出されました。討議を経て、二〇一四年度活動方針並びに予算案は提案通り承認され、さらに、今後二年間の新しい役員案も承認されました。(下段参照)

最後に、国民を戦争に引きずり込む集団的自衛権行使容認、福島原発事故も未収束のまま再稼働・輸出に走り国民の生命と安全を省みない原発政策、貧困化・格差拡大・社会保障後退を齎すアベノミクス等に抗して闘う等の課題を多くの退職者組織や労働組合と連帯して取り組む総会宣言を採択して閉会しました。討議の時間がもう少し欲しいと感じさせる総会でした。

総会終了後、神保町にある中華料理店「三幸園」に会場を移し懇親会をもちました。(松下 記)

## 二〇一四年～二〇一五年度 東京都退職教職員協議会役員

会 長	◎柴田 迪春 (葛飾)
副 会 長	◎安部 東明 (東京教組)
事務局長	◎松下 和男 (葛飾)
会 計	◎谷口 滋 (品川)
常任委員	◎安藤 隆 (品川)
	◎遠藤 宏一 (八王子)
	◎祝迫 規之 (目黒)
	◎川角 恒 (特別区)
	◎城田 純生 (多摩島嶼)
	◎藤崎 喜仁 (江戸川)
	◎別所 勝也 (世田谷)
	◎矢口 信 (豊島)
顧 問	◎秋元 松彦 (杉並)
会計監査	◎小倉 武 (目黒)
	◎長谷川和男 (杉並)

(◎ 印は新任役員)

## 「九・一五全国高齢者集会」について

毎年行われている「九・一五全国高齢者集会」は二〇〇六年から、集会のみではなく多くの人にアッピールしようといふ集会後銀座を経て東京駅近くまでデモ行進しております。都退教協への参加数の割り当ては四名と少ないのですが、都退教協はデモ行進に参加し希望の方については、メーカーと同様に対応することになりました(交通費自己負担)。脚力に自身のある方は是非ご参加ください。(役員が都退教協の旗を持って会場前で待機しております。)

### 記

- 一、主催者 日本高齢・退職者団体連合
- 二、日 時 二〇一四年九月十五日(月) 十三時～十六時
- 三、場 所 日比谷公会堂(日比谷公園内)
- 四、デモ 銀座コース(東京駅周辺解散)

## 会長退任にあたって 秋元 松彦

7月2日の都退教協の総会で、私は会長を辞任致しました。新しい会長は、これまでに副会長として活躍された柴田迪春さんです。

私の辞任の理由は健康上の問題と年齢です。来年は80歳になりますが、最近はしみじみと自分の体力が落ちたことを実感させられることが多くなりました。また、耳が遠くなり、特に会議に参加した時、人の話が聴きにくく、メモがよくとれなくて困ることが度々です。物忘れ、何でも漢字が書けなくなったりすることも多く、いよいよボケが始まったかと心配しています。周囲の人に会長辞任の相談をすると、責任のあるポストを離れるとすぐボケるからがんばれと云ってくださる方もいらっしゃいますが、私としては、もう限界だと考えました。

私の前の会長の 大野昭之さんが任期途中で病死され、大野さんの残りの任期を会長代行した後、3期6年合計7年ほど都退教協の代表を務めさせていただきました。その間、沢山の皆様のご協力とご支援を頂いたことに、厚く御礼申し上げます。

今後の私は、顧問という立場で役員会に参加することになりますが、体力の続く限り都退教協の運動に協力していくつもりです。新しい執行部にもこれまで以上に皆さんの協力と支援をお寄せくださることをお願いして、会長辞任のご挨拶といたします。

